



2021年2月16日の宗祖日蓮大聖人御聖誕800年法要の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

人はだれでも、人から褒められることは、天に昇つたように嬉しいものです。しかし、大人にありがちですが、同じ内容で三回褒められると慢心をもつ傾向にもあるようです。心というものはなんとも難しいものです。「愚人にほめられたるは第一のはぢ(恥)なり」(御書577頁)とは、大聖人の開目抄の御文です。正しく大聖人の教えを信じ、行じ、折伏をしていく上において、いかなる批難・中傷があろうとも、馬鹿にされようとも、それは南無妙法蓮華経の弘通のためですから何も恥じることはありません。恐ろしいのは、さも理解のあるといった態度で同調する人々の甘言であり、仏法に暗い人々に迎合してしまうことです。私たちは唯一正法を持った者として毅然たる態度で生活していかなければなりません。不屈の信念のもと大法弘通に励みたいものです。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その7)

昭和39年5月開催の第27回本部総会にて正本堂の建立寄進が打ち出され、昭和47年10月、正本堂は建立されました。その折、池田氏は、正本堂を「日蓮大聖人御遺命の戒壇」であると主張し、それを認めさせるべく宗門に迫りました。未だ広宣流布が達成されてないにも関わらず、「自分がそれを達成した」というのです。しかし時の御法主日蓮上人はこれを拒否し、『訓諭』にて、「正本堂は、一期弘法付嘱書並びに三大秘法抄の意義を含む現時における事の戒壇なり」と、創価学会による広布進展の功績を正本堂の意義に含めたうえで、正本堂を、広布途上における本門戒壇の御本尊を御安置する殿堂と意義づけられました。これに承伏できなかった池田氏は、宗門に対する反感を強め、慢心を増長させ、昭和52年の教義逸脱問題を引き起こすことになるのです。(次回へ続く)

③ 宗教は科学的根拠や証明が曖昧ではないか、という方へ

科学の基本となる道理が因果律です。つまり因となるものが縁によって一定の結果を生ずること、たとえば酸素と水素による水の存在です。この普遍的な因果律が「科学的」という意味です。世の中を見ると、道理にかなわない、または迷信なる宗教もたくさんあります。しかし日蓮大聖人の仏法には生命論の上から文証・理証・現証をときます。仏が人間生命の本質と法界の真理を深く観達して説かれた仏法を、現代の科学をもって証明するには無理があります。それはあたかも、尺取り虫が自分の歩幅と歩数で、空を飛ぶ鳥の飛距離を計ろうとするのと同じです。近代科学は物質文明のなかで発達し、多大な貢献をしてきましたが、精神文明、ことに人間の心に立ち入ることができません。豊かな生命力を湧現させる仏法から科学を見つめるべきです。

第49号

法遍寺 から大切な 皆様へ

2021年3月1日

日蓮正宗 年間方針

宗祖日蓮大聖人
御聖誕800年の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 日々勤行・唱題の実践

功德の源泉

一家和樂の信心

② 折伏実践こそ最善の報恩行

御命題達成

誓願成就

③ 寺院参詣と登山で人材育成

無始の罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料